



四辻亭有

好中正四位

四條(四十一)公理

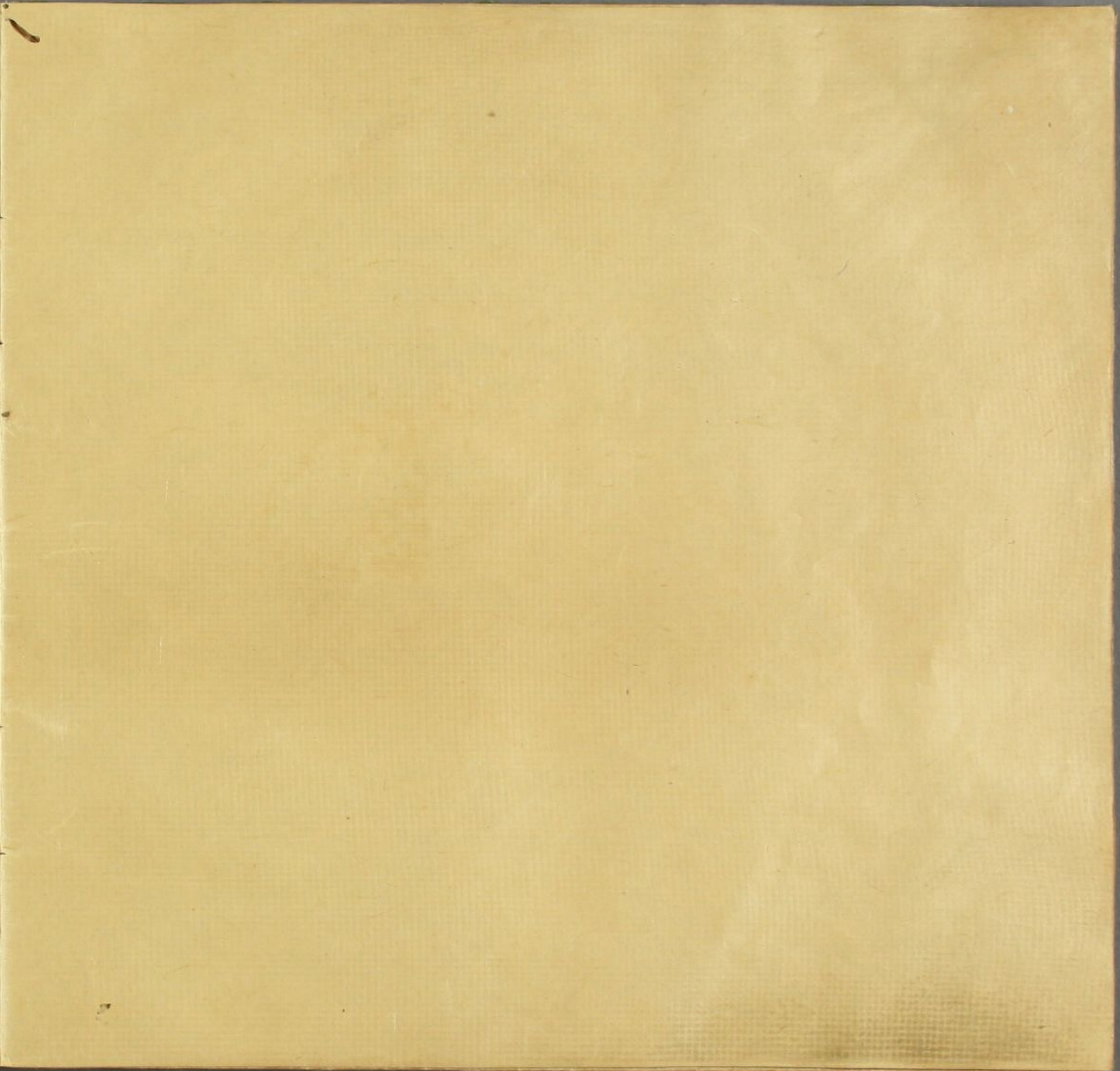
正二位

二男





石
隱
文
庫



やんばつらうとていふもあはれなり
うらみぞいふもあはれなり
からくはつらうとていふもあはれなり
あはれなればいふもあはれなり
首男ありしはつらうとていふもあはれなり
うらみぞいふもあはれなり
あはれなればいふもあはれなり
からくはつらうとていふもあはれなり
あはれなればいふもあはれなり

うらみぞいふもあはれなり
あはれなればいふもあはれなり
からくはつらうとていふもあはれなり
あはれなればいふもあはれなり
首男ありしはつらうとていふもあはれなり
うらみぞいふもあはれなり
あはれなればいふもあはれなり
からくはつらうとていふもあはれなり
あはれなればいふもあはれなり

らりしとてはるかにあはれなる
るにたはるかにあはれなる
あはれなるにたはるかにあはれなる

あはれなるにたはるかにあはれなる

あはれなるにたはるかにあはれなる

あはれなるにたはるかにあはれなる

あはれなるにたはるかにあはれなる

あはれなるにたはるかにあはれなる

あはれなるにたはるかにあはれなる

あはれなるにたはるかにあはれなる

あはれなるにたはるかにあはれなる

あはれなる

あはれなるにたはるかにあはれなる

あはれなるにたはるかにあはれなる

あはれなるにたはるかにあはれなる

あはれなるにたはるかにあはれなる

あはれなるにたはるかにあはれなる

あはれなるにたはるかにあはれなる

あはれなるにたはるかにあはれなる

あはれなるにたはるかにあはれなる

らふは子に絶してゐる(昔)からしては(目)の
は(あ)らう(さ)う(な)く(み)を(と)す(は)な(さ)う
先(き)に(も)あ(り)し(た)あ(つ)て(ま)り(た)く(あ)る(は)
な(ら)う(あ)ら(せ)し(ま)う(と)あ(つ)て(ま)る(は)
あ(ら)う(と)あ(つ)て(ま)る(は)

し(つ)も(あ)ら(う)あ(つ)て(ま)る(は)な(ら)う(あ)
ら(う)あ(つ)て(ま)る(は)な(ら)う(あ)ら(せ)
し(つ)も(あ)ら(う)あ(つ)て(ま)る(は)な(ら)う(あ)
ら(う)あ(つ)て(ま)る(は)な(ら)う(あ)ら(せ)
し(つ)も(あ)ら(う)あ(つ)て(ま)る(は)な(ら)う(あ)
ら(う)あ(つ)て(ま)る(は)な(ら)う(あ)ら(せ)

せ(つ)も(あ)ら(う)あ(つ)て(ま)る(は)

首(う)も(あ)ら(う)あ(つ)て(ま)る(は)な(ら)う(あ)
ら(う)あ(つ)て(ま)る(は)な(ら)う(あ)ら(せ)
し(つ)も(あ)ら(う)あ(つ)て(ま)る(は)な(ら)う(あ)
ら(う)あ(つ)て(ま)る(は)な(ら)う(あ)ら(せ)
し(つ)も(あ)ら(う)あ(つ)て(ま)る(は)な(ら)う(あ)
ら(う)あ(つ)て(ま)る(は)な(ら)う(あ)ら(せ)
し(つ)も(あ)ら(う)あ(つ)て(ま)る(は)な(ら)う(あ)
ら(う)あ(つ)て(ま)る(は)な(ら)う(あ)ら(せ)
し(つ)も(あ)ら(う)あ(つ)て(ま)る(は)な(ら)う(あ)
ら(う)あ(つ)て(ま)る(は)な(ら)う(あ)ら(せ)


~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

わが国にありては
たゞのちりては
たゞのちりては

都を

たゞのちりては

たゞのちりては

首男の國を

たゞのちりては

たゞのちりては

たゞのちりては

たゞのちりては

たゞのちりては

たゞのちりては

たゞのちりては

たゞのちりては

たゞのちりては

たゞのちりては

たゞのちりては

たゞのちりては

たゞのちりては

たゞのちりては

首馬女は入道と申すに
首馬女は入道と申すに

首馬女は入道と申すに

首馬女は入道と申すに

首馬女は入道と申すに

首馬女は入道と申すに

首馬女は入道と申すに

首馬女は入道と申すに

首馬女は入道と申すに

首馬女は入道と申すに

首馬女は入道と申すに

首馬女は入道と申すに

首馬女は入道と申すに

首馬女は入道と申すに

首馬女は入道と申すに

首馬女は入道と申すに

首馬女は入道と申すに

首馬女は入道と申すに

首馬女は入道と申すに

首馬女は入道と申すに

首馬女は入道と申すに

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

おんついでに

あつちのついでに

あつちのついでに

あつちのついでに

あつちのついでに

あつちのついでに

あつちのついでに

あつち

あつちのついでに

あつちのついでに

あつち

あつちのついでに

あつちのついでに

あつちのついでに

あつちのついでに

あつちのついでに

あつちのついでに

あつちのついでに

あつちのついでに

あつちのついでに

おはようございます (お)

首男おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます


~~~~~

いしはくまのりくわいあひま

ちりりりりりりりりりりりり

首男女のりりりりりりりりり

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

بسم الله الرحمن الرحيم  
الحمد لله رب العالمين والصلوة والسلام  
على من لا نبي بعده

الحمد لله رب العالمين والصلوة والسلام  
على من لا نبي بعده

الحمد لله رب العالمين والصلوة والسلام  
على من لا نبي بعده

الحمد لله رب العالمين والصلوة والسلام  
على من لا نبي بعده

ع

الحمد لله رب العالمين والصلوة والسلام  
على من لا نبي بعده

الحمد لله رب العالمين والصلوة والسلام  
على من لا نبي بعده

ع

الحمد لله رب العالمين والصلوة والسلام  
على من لا نبي بعده

الحمد لله رب العالمين والصلوة والسلام  
على من لا نبي بعده





はなはたしきことなり  
君らにこそは  
あつたはなはたしきことなり

とらふはなはたしきことなり

しつこくさるるはなはたしきことなり  
はなはたしきことなり  
はなはたしきことなり  
はなはたしきことなり  
はなはたしきことなり  
はなはたしきことなり  
はなはたしきことなり  
はなはたしきことなり  
はなはたしきことなり  
はなはたしきことなり

はなはたしきことなり

はなはたしきことなり

はなはたしきことなり

はなはたしきことなり

はなはたしきことなり

はなはたしきことなり

はなはたしきことなり

はなはたしきことなり

はなはたしきことなり

はなはたしきことなり



とておぼくは水くちのうらやまのうらやま

とておぼくは水くちのうらやまのうらやま

かみくちのうらやまのうらやま

かみくちのうらやまのうらやま

かみくちのうらやまのうらやま

かみくちのうらやまのうらやま

かみくちのうらやまのうらやま

かみくちのうらやまのうらやま

かみくちのうらやまのうらやま

かみくちのうらやまのうらやま

かみくちのうらやまのうらやま

かみくちのうらやまのうらやま

かみくちのうらやまのうらやま

かみくちのうらやまのうらやま

かみくちのうらやまのうらやま

かみくちのうらやまのうらやま

かみくちのうらやまのうらやま

かみくちのうらやまのうらやま

かみくちのうらやまのうらやま

かみくちのうらやまのうらやま

これにては、  
一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、



おきしんをなほしむるはむづかしい

あつしんをりつらむるはむづかしい

じつ男つらみのなほひらむるはむづかしい  
けつしんをりつらむるはむづかしい

我なほしんをりつらむるはむづかしい

ゆふしんをりつらむるはむづかしい

〜

あつしんをりつらむるはむづかしい

あつしんをりつらむるはむづかしい

あつしんをりつらむるはむづかしい

あつしんをりつらむるはむづかしい

あつしんをりつらむるはむづかしい

あつしんをりつらむるはむづかしい

〜

あつしんをりつらむるはむづかしい

あつしんをりつらむるはむづかしい

あつしんをりつらむるはむづかしい

あつしんをりつらむるはむづかしい

あつしんをりつらむるはむづかしい

あつしんをりつらむるはむづかしい

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise. The text is written in a cursive style and spans the width of the page. It begins with a large initial letter 'س' (S) and ends with a decorative flourish.

Handwritten text in Arabic script, continuing the text from the previous page. It is written in a cursive style and spans the width of the page. It begins with a large initial letter 'س' (S) and ends with a decorative flourish.



~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~



1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41  
42  
43  
44  
45  
46  
47  
48  
49  
50  
51  
52  
53  
54  
55  
56  
57  
58  
59  
60  
61  
62  
63  
64  
65  
66  
67  
68  
69  
70  
71  
72  
73  
74  
75  
76  
77  
78  
79  
80  
81  
82  
83  
84  
85  
86  
87  
88  
89  
90  
91  
92  
93  
94  
95  
96  
97  
98  
99  
100

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41  
42  
43  
44  
45  
46  
47  
48  
49  
50  
51  
52  
53  
54  
55  
56  
57  
58  
59  
60  
61  
62  
63  
64  
65  
66  
67  
68  
69  
70  
71  
72  
73  
74  
75  
76  
77  
78  
79  
80  
81  
82  
83  
84  
85  
86  
87  
88  
89  
90  
91  
92  
93  
94  
95  
96  
97  
98  
99  
100

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41  
42  
43  
44  
45  
46  
47  
48  
49  
50  
51  
52  
53  
54  
55  
56  
57  
58  
59  
60  
61  
62  
63  
64  
65  
66  
67  
68  
69  
70  
71  
72  
73  
74  
75  
76  
77  
78  
79  
80  
81  
82  
83  
84  
85  
86  
87  
88  
89  
90  
91  
92  
93  
94  
95  
96  
97  
98  
99  
100

いふは

いふはいふはいふは

いふはいふはいふは

いふは

いふはいふはいふは

いふはいふはいふは

いふはいふはいふは

いふはいふはいふは

いふはいふはいふは

いふはいふはいふは

いふはいふはいふは

いふは

いふはいふはいふは

いふはいふはいふは

いふは

いふはいふはいふは

いふはいふはいふは

いふはいふはいふは

いふはいふはいふは

いふはいふはいふは

い(い)わ(わ)す(す)る(る)

羽衣(はいつ)い(い)て(て)み(み)り(り)て(て)ま(ま)つ(つ)る(る)

ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)

い(い)わ(わ)す(す)る(る)

ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)

ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)

い(い)わ(わ)す(す)る(る)

ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)

ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)

い(い)わ(わ)す(す)る(る)

ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)

ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)

い(い)わ(わ)す(す)る(る)

ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)

い(い)わ(わ)す(す)る(る)

ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)

ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)

い(い)わ(わ)す(す)る(る)

ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)

ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)ま(ま)つ(つ)る(る)



うらやまにさかすかしたるをば

まへにさかすかしたるをば

しつちをさかすかしたるをば

すまをさかすかしたるをば

うらやまにさかすかしたるをば

まへにさかすかしたるをば

しつちをさかすかしたるをば

うらやまに

まへにさかすかしたるをば

うらやまにさかすかしたるをば

しつちをさかすかしたるをば  
なみちをさかすかしたるをば

うらやまにさかすかしたるをば

まへにさかすかしたるをば

しつちをさかすかしたるをば

うらやまにさかすかしたるをば

まへにさかすかしたるをば

しつちをさかすかしたるをば

うらやまに

まへにさかすかしたるをば

بسم الله الرحمن الرحيم

الحمد لله الذي هدانا لهذا الذي كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

والحمد لله رب العالمين

والصلاة والسلام على من لا نبي بعده

وبعد

فإن من أعظم نعم الله علينا أن جعل في كتابه

القرآن الكريم آيات كثيرة تدبرها العباد

فإن من أعظمها ما ورد في سورة البقرة

فمن قرأ القرآن فإنه يسمع نواصي

الآيات ويبلغ أسرارها ويعلم أنباء الغيب

والله اعلم بالصواب

والصلاة والسلام على من لا نبي بعده

وبعد

فإن من أعظم نعم الله علينا أن جعل في كتابه

القرآن الكريم آيات كثيرة تدبرها العباد

فإن من أعظمها ما ورد في سورة البقرة

فمن قرأ القرآن فإنه يسمع نواصي الآيات

ويبلغ أسرارها ويعلم أنباء الغيب

والله اعلم بالصواب

والصلاة والسلام على من لا نبي بعده

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, covering the left page of the manuscript.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, covering the right page of the manuscript.

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~





بسم الله الرحمن الرحيم

الحمد لله رب العالمين

والصلاة والسلام على من لا نبي بعده

وبعد فقد حضر في هذا اليوم

الذي هو يوم الجمعة الموافق

للعاشوراء من شهر ربيع الثاني

سنة ١٢٩٠ هـ الموافق لـ ١٩٦٨ م

في مدينة الرياض بالمملكة العربية

السعودية حضر في هذا اليوم

الذي هو يوم الجمعة الموافق

للعاشوراء من شهر ربيع الثاني

سنة ١٢٩٠ هـ الموافق لـ ١٩٦٨ م

في مدينة الرياض بالمملكة العربية

السعودية حضر في هذا اليوم

الذي هو يوم الجمعة الموافق

للعاشوراء من شهر ربيع الثاني

سنة ١٢٩٠ هـ الموافق لـ ١٩٦٨ م

والصلاة والسلام على من لا نبي بعده

وبعد فقد حضر في هذا اليوم

الذي هو يوم الجمعة الموافق





بسم الله الرحمن الرحيم

الحمد لله الذي هدانا لهذا

الذي كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

فكأننا كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

فكأننا كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

فكأننا كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

فكأننا كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

فكأننا كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

فكأننا كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

فكأننا كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

بسم الله الرحمن الرحيم

الحمد لله الذي هدانا لهذا

الذي كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

فكأننا كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

فكأننا كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

فكأننا كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

فكأننا كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

فكأننا كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

فكأننا كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

فكأننا كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله





てんてんてんてんてんてんてんてん

てん

てんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてん

てん

てんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてん

てんてん



道可道不可道  
玄之又玄  
衆妙之門  
常無常  
非有非無  
不生不滅  
不垢不淨  
不增不减  
無所從來  
無所去處  
無所住著  
無所執著  
無所分別  
無所對待  
無所障礙  
無所纏繞  
無所繫縛  
無所染污  
無所損壞  
無所變易  
無所動搖  
無所屈伸  
無所屈曲  
無所屈曲  
無所屈曲

法華經疏  
卷之三  
妙法蓮華經  
譬喻品  
如來無所說  
而說種種法  
如來無所行  
而行種種道  
如來無所見  
而見種種相  
如來無所知  
而知種種法  
如來無所覺  
而覺種種心  
如來無所證  
而證種種果  
如來無所入  
而入種種地  
如來無所出  
而出種種處  
如來無所往  
而往種種方  
如來無所歸  
而歸種種處

妙法蓮華經  
譬喻品  
如來無所說  
而說種種法













مَنْ يَتَّقِ اللَّهَ يَجْعَلْ لَهُ مَخْرَجًا  
وَيَرْزُقْهُ مِنْ حَيْثُ لَا يَحْتَسِبُ  
وَمَا يُلَاقِهِ فِي الْمَخْرَجِ  
مَالًا كَثِيرًا سَلِيمًا  
ذُو بَعْدٍ عَظِيمٍ  
وَمَنْ يَتَّقِ اللَّهَ يَجْعَلْ لَهُ مَخْرَجًا  
وَيَرْزُقْهُ مِنْ حَيْثُ لَا يَحْتَسِبُ  
وَمَا يُلَاقِهِ فِي الْمَخْرَجِ  
مَالًا كَثِيرًا سَلِيمًا  
ذُو بَعْدٍ عَظِيمٍ  
وَمَنْ يَتَّقِ اللَّهَ يَجْعَلْ لَهُ مَخْرَجًا  
وَيَرْزُقْهُ مِنْ حَيْثُ لَا يَحْتَسِبُ  
وَمَا يُلَاقِهِ فِي الْمَخْرَجِ  
مَالًا كَثِيرًا سَلِيمًا  
ذُو بَعْدٍ عَظِيمٍ

وَمَنْ يَتَّقِ اللَّهَ يَجْعَلْ لَهُ مَخْرَجًا  
وَيَرْزُقْهُ مِنْ حَيْثُ لَا يَحْتَسِبُ  
وَمَا يُلَاقِهِ فِي الْمَخْرَجِ  
مَالًا كَثِيرًا سَلِيمًا  
ذُو بَعْدٍ عَظِيمٍ  
وَمَنْ يَتَّقِ اللَّهَ يَجْعَلْ لَهُ مَخْرَجًا  
وَيَرْزُقْهُ مِنْ حَيْثُ لَا يَحْتَسِبُ  
وَمَا يُلَاقِهِ فِي الْمَخْرَجِ  
مَالًا كَثِيرًا سَلِيمًا  
ذُو بَعْدٍ عَظِيمٍ  
وَمَنْ يَتَّقِ اللَّهَ يَجْعَلْ لَهُ مَخْرَجًا  
وَيَرْزُقْهُ مِنْ حَيْثُ لَا يَحْتَسِبُ  
وَمَا يُلَاقِهِ فِي الْمَخْرَجِ  
مَالًا كَثِيرًا سَلِيمًا  
ذُو بَعْدٍ عَظِيمٍ  
وَمَنْ يَتَّقِ اللَّهَ يَجْعَلْ لَهُ مَخْرَجًا  
وَيَرْزُقْهُ مِنْ حَيْثُ لَا يَحْتَسِبُ  
وَمَا يُلَاقِهِ فِي الْمَخْرَجِ  
مَالًا كَثِيرًا سَلِيمًا  
ذُو بَعْدٍ عَظِيمٍ

昔は...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

منه فليس في ذلك حرج

منه فليس في ذلك حرج

منه فليس في ذلك حرج

منه فليس في ذلك حرج

منه فليس في ذلك حرج

منه فليس في ذلك حرج

منه فليس في ذلك حرج

منه فليس في ذلك حرج

منه فليس في ذلك حرج

منه فليس في ذلك حرج

منه فليس في ذلك حرج

منه فليس في ذلك حرج

منه فليس في ذلك حرج

منه فليس في ذلك حرج

منه فليس في ذلك حرج

منه فليس في ذلك حرج

منه فليس في ذلك حرج

منه فليس في ذلك حرج

منه فليس في ذلك حرج

منه فليس في ذلك حرج









し ~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

首~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~





しんがはらふはらふはらふはらふ

しんがはらふはらふはらふはらふ

しんがはらふはらふはらふはらふ

しんがはらふはらふはらふはらふ

しんがはらふはらふはらふはらふ

しんがはらふはらふはらふはらふ

しんがはらふはらふはらふはらふ

しんがはらふはらふはらふはらふ

しんがはらふはらふはらふはらふ

しんがはらふはらふはらふはらふ

しんがはらふはらふはらふはらふ

しんがはらふはらふはらふはらふ

しんがはらふ

しんがはらふはらふはらふはらふ

しんがはらふはらふはらふはらふ

しんが

しんがはらふはらふはらふはらふ

しんがはらふはらふはらふはらふ

しんがはらふはらふはらふはらふ

しんがはらふはらふはらふはらふ



くわしんはまあつらふもあてあは  
のりまはちりちりちりちりちりちり  
りりりりりりりりりりりりりり  
じりりりりりりりりりりりりりり  
せりりりりりりりりりりりりりり  
まりりりりりりりりりりりりりり  
ありりりりりりりりりりりりりり  
うりりりりりりりりりりりりりり  
りりりりりりりりりりりりりりり  
せりりりりりりりりりりりりりり

とんりりりりりりりりりりりりり  
じりりりりりりりりりりりりりり  
ありりりりりりりりりりりりりり  
はりりりりりりりりりりりりりり  
かりりりりりりりりりりりりりり  
りりりりりりりりりりりりりりり  
りりりりりりりりりりりりりりり

りりりりりりりりりりりりりりり  
りりりりりりりりりりりりりりり  
りりりりりりりりりりりりりりり  
りりりりりりりりりりりりりりり  
りりりりりりりりりりりりりりり  
りりりりりりりりりりりりりりり  
りりりりりりりりりりりりりりり







じつとあつちのうらやうな

風物もさうさうな

さうさうな

さうさうな

さう

さうさうな

さうさうな

さうさうな

さうさうな

さうさうな

じつとあつちのうらやうな

さうさうな

さう

さうさうな

さうさうな

さうさうな

さうさうな

さうさうな



Handwritten text in cursive script, first line on the left page.

Handwritten text in cursive script, second line on the left page.

Handwritten text in cursive script, third line on the left page.

Handwritten text in cursive script, fourth line on the left page.

Handwritten text in cursive script, fifth line on the left page.

Handwritten text in cursive script, sixth line on the left page.

Handwritten text in cursive script, seventh line on the left page.

Handwritten text in cursive script, eighth line on the left page.

Handwritten text in cursive script, ninth line on the left page.

Handwritten text in cursive script, tenth line on the left page.

Handwritten text in cursive script, first line on the right page.

Handwritten text in cursive script, second line on the right page.

Handwritten text in cursive script, third line on the right page.

Handwritten text in cursive script, fourth line on the right page.

Handwritten text in cursive script, fifth line on the right page.

Handwritten text in cursive script, sixth line on the right page.

Handwritten text in cursive script, seventh line on the right page.

Handwritten text in cursive script, eighth line on the right page.

Handwritten text in cursive script, ninth line on the right page.

Handwritten text in cursive script, tenth line on the right page.

道はつらきものなりけり

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

あは

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり

以一再信或人所包令

書寫年

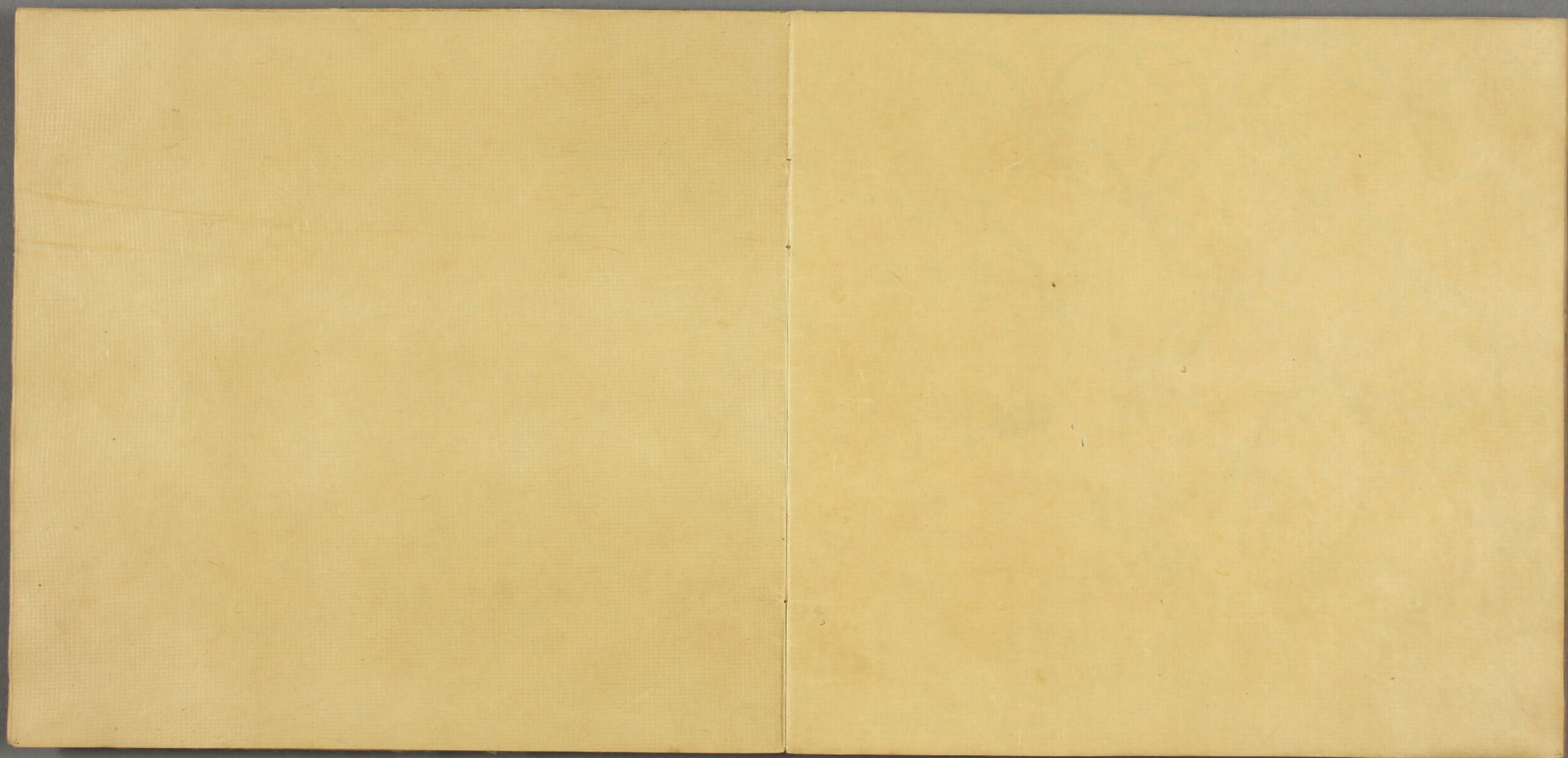
美應三年

八月日

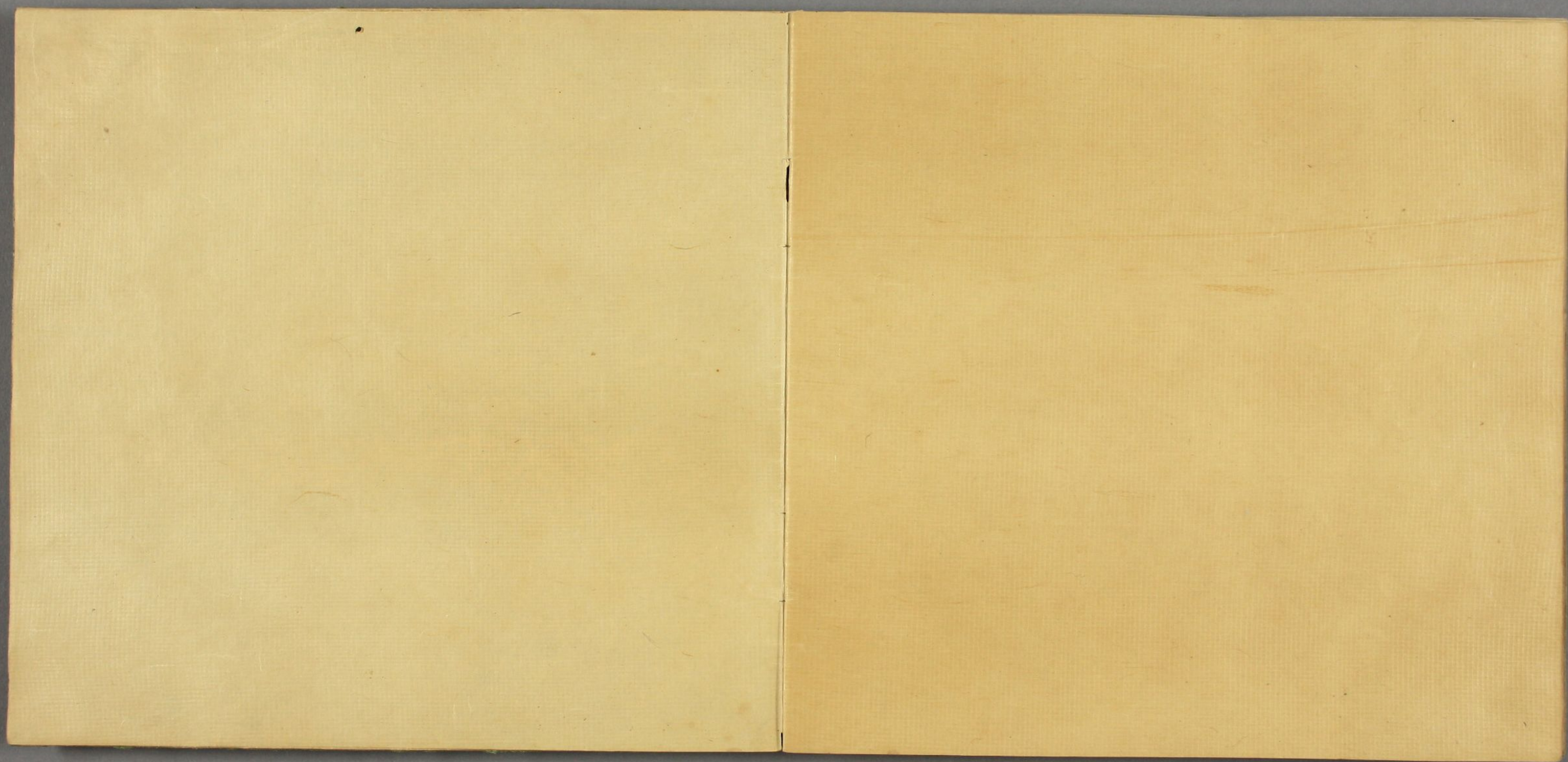
藤原季有

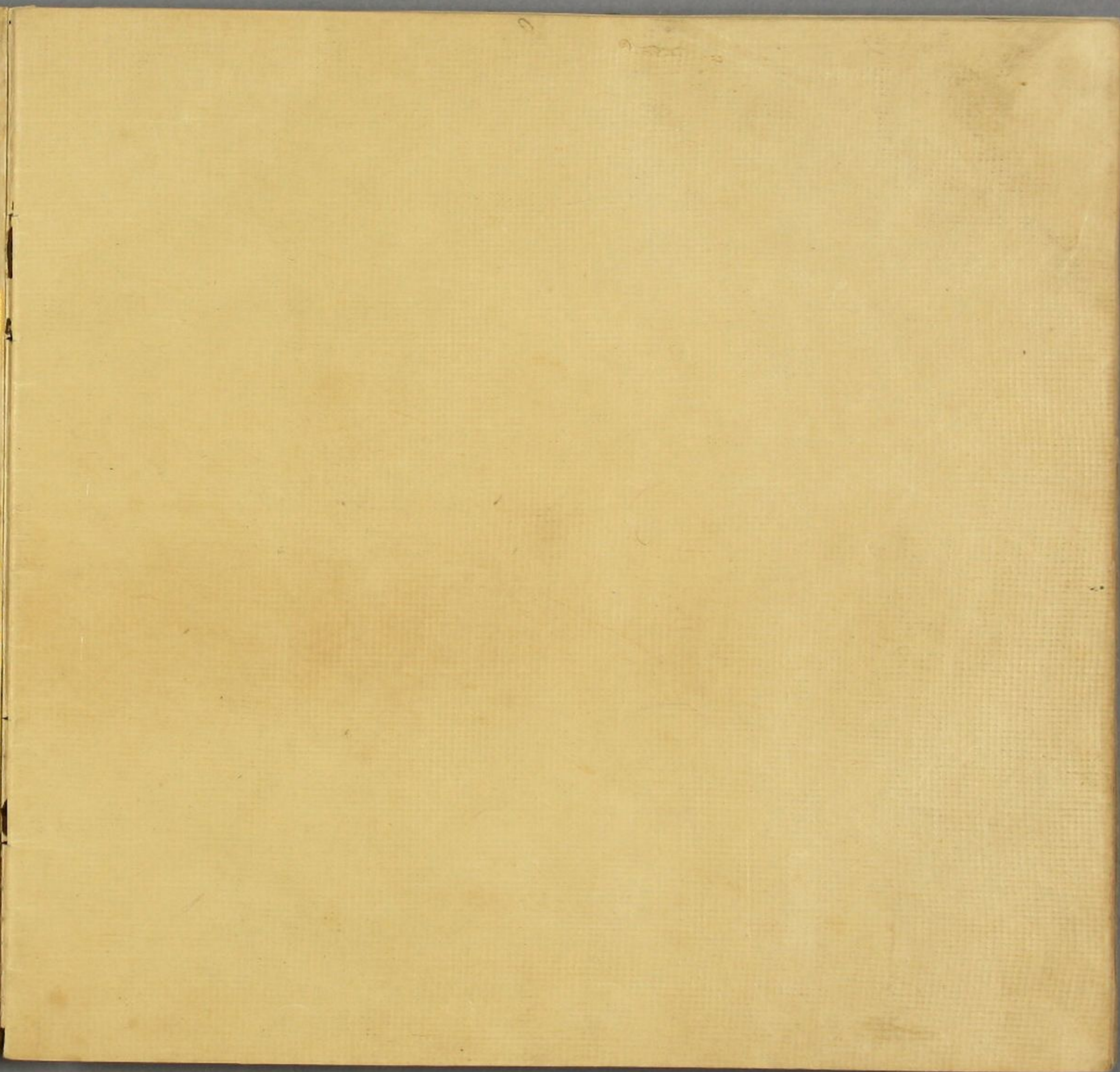




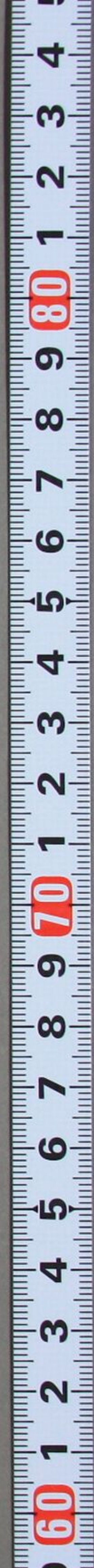












伊勢物語

竹中殿奉有筆

